

<情報解禁は7月30日(水)AM10:00になります。ご注意ください>

テリー・ギリアム、トム・ウェイツ、ザ・レジデンツが声優参加
伝説のパペット・ミュージカル・アニメーション

『ニクスの怪物』が日本初公開

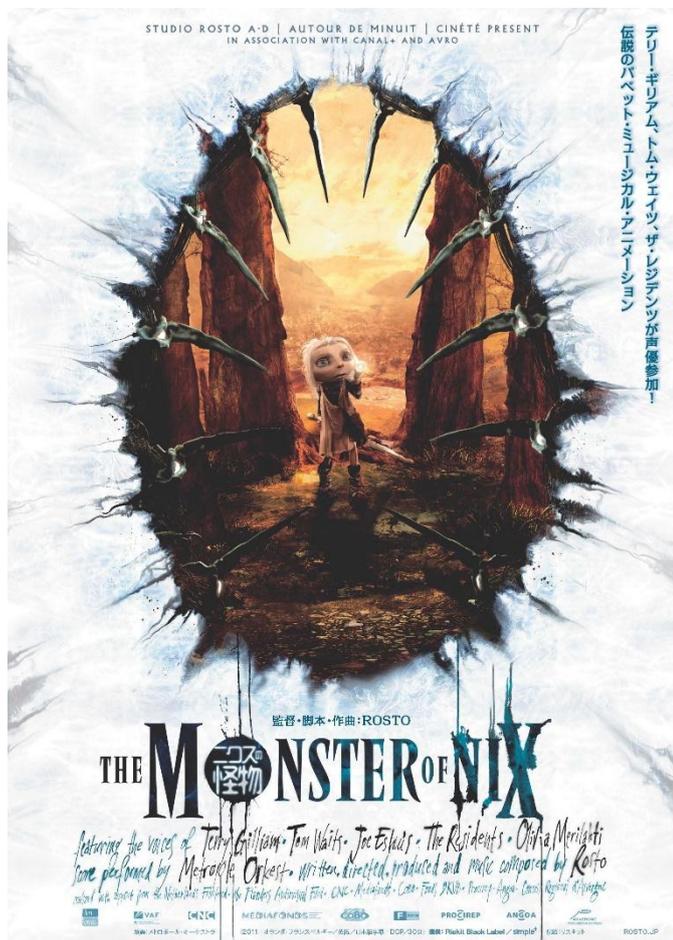
ROSTO 追悼上映<存在証明>にて追加上映決定

メインビジュアル&キャラクター写真解禁

いつも大変お世話になっております。この度、テリー・ギリアム、トム・ウェイツ、ザ・レジデンツが声優参加伝説のパペット・ミュージカル・アニメーション『ニクスの怪物』の日本初公開が決定しました！

本作は8月16日(土)よりシアター・イメージフォーラムにて開催される

ROSTO 追悼上映企画<存在証明>にて追加上映されます。



公開決定に際して、メインビジュアルとキャラクター写真を解禁いたします！！！！

『ニクスの怪物』

ようこそ、ROSTO の夢世界へ…

のどかな村ニクスにとんでもない事態が巻き起こった！少年ウィーリーは、すべてを食いつくす怪物に一人で立ち向かうことに……

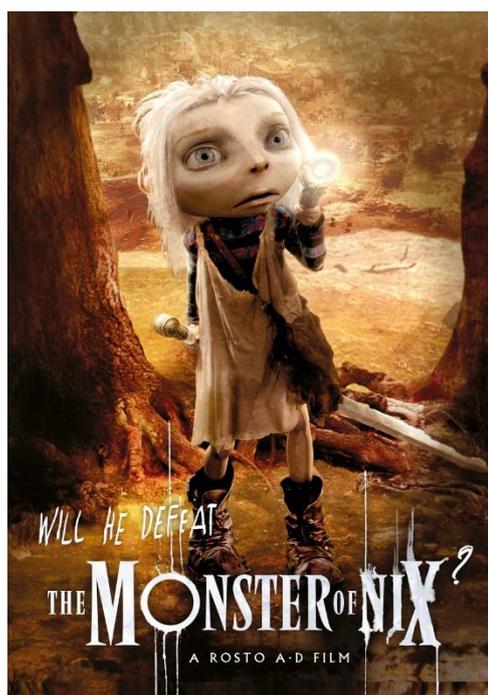
本作は2019年に亡くなったスペインの鬼才 ROSTO が5年の歳月をかけ、自身の持つ才能すべてを注ぎ込んで紡ぎあげた伝説のパペット・ミュージカル・アニメーションです。

ROSTO と親交が深かった友人たちの声優参加も話題です！テリー・ギリアムは、恐怖に陥って森の小屋に閉じ込められたレンジャー、そしてトム・ウェイツは恐ろしい真っ黒なツバメ・バージルの声を演じています。作曲はミュージカルが大嫌いインタビューで語っていた ROSTO 自身が担当しています。演奏は大所帯で有名なメトロポール・オーケストラ。

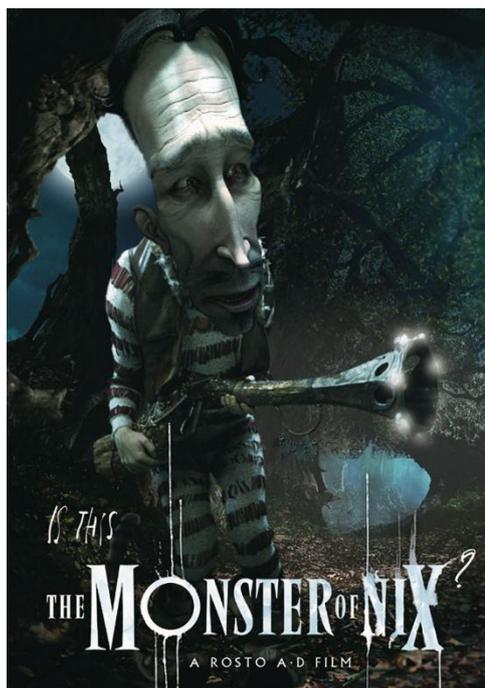
キャラクター写真を一挙解禁



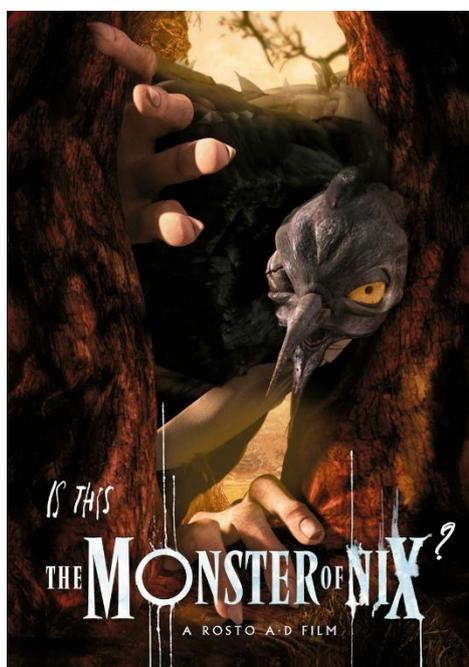
ニクス:主人公 モンスターに連れ去れた祖母を探しに一人、魔法の森に…。そこで巻き起こる不思議な出来事に翻弄されながらも真実に近づいていく。頭の大きな姿は ROSTO の造作の特徴の一つ。



レンジャー(声:テリー・ギリアム):超怖がり森の中の小屋に引きこもっていたが、ウィーリーが訪ねてきたことで、心機一転、森の案内人を嘗て出る。モーション・キャプチャーは THE WRECKERS のメンバー、W・FOLLY が演じている。



バージル(声:トム・ウェイツ):どうみてもカラスだが、ツバメだと主張する。ウィーリーに”卵“が大事な要素であることを教えてくれる。果たして味方なのか、敵なのか…不気味な存在。

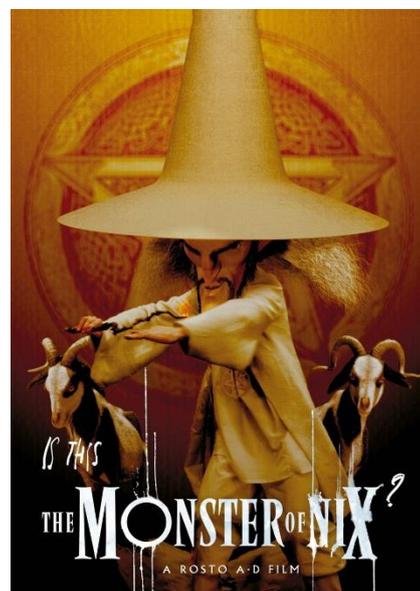
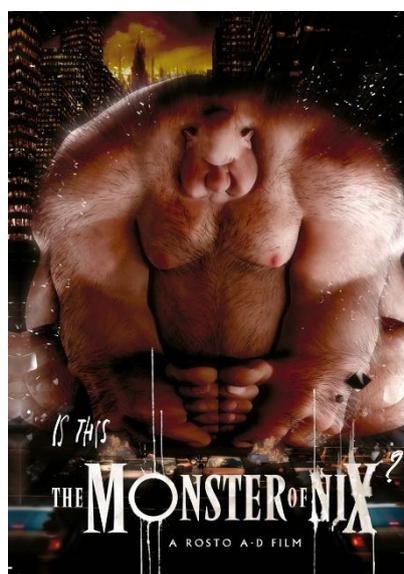


他にも ROSTO 監督による複合メディアプロジェクト「Mind My Gap」でお馴染みのキャラクターが多数登場しています。

(左) トム・ベリー:カンヌ受賞短編の主人公

(中) ローリング・ヌーディスト(別名 ジャイアント)

(右) シュナーツル(間違った教育を受けた魔法使い)



原題:THE MONSTER OF NIX

監督・脚本・作曲:ROSTO 演奏:メトロポール・オーケストラ

<2011/オランダ・フランスベルギー/英語/日本語字幕/DCP/30分>

提供:Riskit Black Label/Simple+ 配給:リスキット

ROSTO(1969-2019)

最初の短編映画「(伝説の) アングロビリー・フィーバーソンの興亡」(2002年)と「ジョナ/トムベリー」(2005年カンヌ国際映画祭 Canal+グランプリ受賞)は、数々の権威ある国際映画祭で上映され、世界的な評価を得ました。これらの短編映画は、オンライン・ラフィックノベルから始まり、音楽、小説、そして映画へと展開した複合メディア・プロジェクトの「MIND MY GAP」の一環でした。こうした「MIND MY GAP」プロジェクト作品が2015年のリュブリャナ近代美術館を含むいくつかの国際映画祭で注目され、ロストの作品は、国際的な音楽アーティストの注目も集めました。本作『ニクスの怪物』(2011)では、メトロポール・オーケストラ、トム・ウェイツ、テリー・ギリアム、ザ・レジデンツ、ザ・ドーらとコラボレーション作品となっています。ロストは並行して音楽プロジェクト「ジー・レッカーズ」をフィーチャーした4部作に着手、シリーズの1作目『うちが一番』(2008年)を発表、2作目『ロンリー・ボーンズ』(2013)はオタワ国際アニメーション映画祭でグランプリを受賞しました。『スプリンタータイム』(2015年)、『リランズ』(2018年)で、この「ジー・レッカーズ」四部作は完結します。ロスト監督は自身初の長編映画の開発に挑みますが、2019年病気のため、急逝。

4部作は彼の死後、フランスの制作・配給会社オトゥード・ミヌイト主催のミハエル・シュマーキンによって『四つの悪夢』に纏められ、ドキュメンタリーと合わせてヨーロッパ各国で上映されました。



ROSTO 追討上映<存在証明> 8/16(土)よりイメージ・フォーラムにて先行公開

スペインの鬼才アルベルト・バスケス(『ユニコーン・ウォーズ』)、カナダの鬼才ガイ・マディン(『ギムリ・ホスピタル』)など、国内で知られざる才能を発掘、紹介する Riskit Black Label による**オランダの芸術家 ROSTO の追悼上映企画<存在証明>**。遺作となった『四つの悪夢』(45分)とドキュメンタリー(20分)に加え、『ニクスの怪物』がラインナップに加わった合計 95 分の特集上映となっています。



『四つの悪夢』

<2020/フランス・オランダ/カラー/DCP/英語・日本語字幕/45分>

監督:ROSTO 原題:THEE WRECKERS TETRALOGY

“No Place Like Home_うちが一番”(2008)

“Lonely Bones_孤独な骨”(2013)

“Splintertime_スプリンタータイム”(2015)

“Reruns_再生”(2018)

ドキュメンタリー

『すべてが変わったようで、何も変わっちゃいない』

<2020/フランス・オランダ/カラー/DCP

/英語・日本語字幕/20分>



ロスト監督追悼上映企画<存在証明> 予告編

https://youtu.be/A_P8wGRY8fc

■本報道資料についてのお問い合わせ先

【作品について】 リスキット 担当:金子 090-7414-5875 gaku0615@gmail.com

【報道資料内使用写真データ/予告編データ】下記よりダウンロードをお願いします

<https://qr.paps.jp/TK26R>



または

https://drive.google.com/drive/folders/1ZOsbAWGqS9O-Q_3u60DA6sT56JC2bJqD

【オンライン試写のご案内】

本報道資料掲載の ROSTO 監督

『四つの悪夢』と『ドキュメンタリー』

『ニクスの怪物』のオンライン試写をご希望の方は

riskit.jp の HP の応募フォームから または info@riskit.jp にて申請ください

お名前

媒体名（掲載可能性媒体/未定可）

試写ご希望の作品名